

---

# バカなアイツがAクラス！？

KEIHIN

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

バカなアイツがAクラス！？

### 【Nコード】

N1360BA

### 【作者名】

KEIHIN

### 【あらすじ】

一年の時、周りの生徒達に馬鹿呼ばわりされた明久はあまりにも悔しかったため勉強して振り分け試験の結果見事Aクラス入りを果たす。Aクラス入りを果たした明久と明久の心強き味方のAクラスのクラスメイト達と明久の幸せを許さぬFクラス達が送るトンデモ学園生活が始まる！

## プロローグ

文月学園に二度目の春が来た。

正門に向かって走る彼…吉井明久は今日から文月学園の二年生となった。

鉄人「吉井、ギリギリセーフだ。後少しで遅刻だったぞ」

明久「おはようございます鉄…西村先生」

鉄人「今鉄人と呼ばなかったか？」

明久「いえ、気のせいですよ」

鉄人「ん？そうか？」

明久「そうですよ」

鉄人「まあいい。ほらクラスの振り分け用紙だ」

明久「あ、どうも」

鉄人は明久に封筒を渡した。

鉄人「吉井、今だから言うがな」

明久「はい？」

鉄人「お前が一年の時、ひょっとしたらコイツは馬鹿なんじゃないか？つて、思ってたんだ」

明久「はあ…」

鉄人「現にお前は観察処分者なんていう不名誉な肩書きを与えられて周りの生徒からも馬鹿呼ばわりをされた。吉井、あのときはどんな気持ちだった？」

明久「あのときはとてつもなく悔しかったですよ。だから皆を見返そうとゲームも漫画も辞めて勉強に集中したわけですよ」

鉄人「そうか…そいつは大したもんだ」

ビリリ、

明久「よし、空いた。結果はどうかかな？」  
鉄人「喜べ吉井」

ピラッ

明久は折り畳まれていた紙を広げた。

紙には『A』と書かれていた。

鉄人「お前はAクラスだ。よく頑張ったな。胸を張ってAクラスの教室に行つてこい！」

明久「はい！」

明久はAクラスの教室に走って行った。

## プロローグ（後書き）

感想お待ちしております。

## 設定1（前書き）

Aクラスのメンバーの設定です。ネタバレの部分もあるかもしれませんが。

## 設定1

吉井明久

クラス A

得意教科 日本史 世界史

召喚獣 明久のデフォルメがゴークイシルバーの服装をしたもの。  
武器はゴークイスピア（ゴールドモード時はゴークイスピアアンカーモード）

能力 スピアモード ガンモードのチェンジ

ゴークイチェンジ（10点消費）

ファイナルウェーブ（100点消費 ゴールドモード時200点消費）

腕輪 『三重召喚』  
トリプル

召喚獣を更に二体召喚する。但し点数は本体の半分。更に副獣はレシジャーキーによるゴークイチェンジが可能（もちろん副獣の点数も10点消費する）

その他 『ゴールドアンカーキー』

後の明久の召喚獣のパワーアップアイテム。これを使用すると召喚獣がゴールドモードにパワーアップする。

霧島翔子

クラス A

得意教科 理数系

召喚獣 翔子のデフォルメが仮面ライダーサガの服装をしたもの。  
武器はジャコーダー

能力 ジャコーダーを剣や鞭に変えることができる  
ウェイクアップ（100点消費）

腕輪 『<sup>ジャッジメント</sup>王の判決』

フィールド内にいる敵を全滅させる。 300点消費

工藤愛子

クラス A

得意教科 保健体育 日本史

召喚獣 愛子のデフォルメが仮面ライダータイガの服装をしたもの。  
武器はデストバイザー

能力 ストライクベント（デストクローを装備する。 10点消費）  
ファイナルベント（クリスタルブレイクを発動する。 この時だけ  
デストワイルダーが出現する。 100点消費）

腕輪 『<sup>フリーズ</sup>凍結』

相手の召喚獣を凍結させて動けなくさせる。 200点消費

木下優子



クラス A

得意教科 英語 世界史

召喚獣 優子のデフォルメが仮面ライダーザビーの服装をしたもの。  
武器はゼクターニードル

能力 プットオン（アーマーを装備してマスクドフォームになる）  
キャストオフ（アーマーを脱ぎ捨てライダーフォームになる 普段  
の召喚獣はこの姿）  
ライダーステインゲ（100点消費）

腕輪 『クロックアップ  
時間操作』

時間を操り自らを速くしたり、相手を遅くしたりする。但し  
効果は10秒間だけ。200点消費

久保利光

クラス A

得意教科 文系

召喚獣 久保のデフォルメが仮面ライダー幽汽の服装をしたもの。  
武器はスカルフォーム時はゴーストイマジンの剣でハイジャックフ  
ォーム時はザヴェジガッシャー

能力 ターミネイトフラッシュ（100点消費）  
ハイジャックフォームにパワーアップ（200点消費）

腕輪 『急所突き（クリティカル）』

相手の召喚獣の弱点を突いて一撃で仕留める。 300点消費

## 設定1（後書き）

次はFクラスの五人の設定です。感想お待ちしております。

## 設定2（前書き）

Fクラスの五人の設定です。1と同様ネタバレの部分があるかもしれません。

## 設定2

坂本雄二

クラス F

得意教科 数学 英語

召喚獣 雄二のデフォルメがゴークイレッドの服装をしたもの。武器は右手にゴークイサーベル、左手にゴークイガンを装備している

能力 ゴークイチェンジ（10点消費）  
ファイナルウェーブ（100点消費）

その他 『ゴークイガレオンバスター』

Fクラスの五人が思いを一つにした時に登場する武器でいわば合体技。必殺技のライジングストライクは五人の点数をパワーに変えて放つ技でゴークイガレオンバスターに与える点数が高ければ高いほど威力も上がる

土屋康太

クラス F

得意教科 保健体育

召喚獣 ムッツリーニのデフォルメがゴークイブルーの服装をしたもの。武器はゴークイサーベル二刀流

能力 ゴーカイチェンジ（10点消費）  
ファイナルウェーブ（100点消費）

腕輪 『加速』

バカテスの原作参照

木下秀吉

クラス F

得意教科 古典

召喚獣 秀吉のデフォルメがゴーカイグリーンの服装をしたもの。  
武器はゴーカイガン二丁拳銃

能力 ゴーカイチェンジ（10点消費）  
ファイナルウェーブ（100点消費）

島田美波

クラス F

得意教科 数学

召喚獣 美波のデフォルメがゴーカイイエローの服装をしたもの。  
武器はゴーカイサーベル二刀流

能力 ゴーカイチェンジ（10点消費）  
ファイナルウェーブ（100点消費）

姫路瑞希

クラス F

得意教科 物理以外

召喚獣 姫路のデフォルメがゴークaipinkの服装をしたもの。武器はゴークaiガンニ丁拳銃

能力 ゴークaiチェンジ（10点消費）  
ファイナルウェーブ（100点消費）

腕輪 『熱線』

バカテスの原作参照

## 設定2（後書き）

次回から本編にはいりたいと思います。感想お待ちしております。



## 第1話：Aクラスの自己紹介！

明久「ここがAクラスの教室か…よし！」

ガチャツ、キイイイ…

明久はAクラスの扉を開けた。

明久「すいませーん。ちょっと遅れちゃいましたーって、アレ？  
ざわざわ…

明久「え…何このざわつき…」

ジー…

明久「何この痛い視線…」

すると明久の前に木下優子が来た

優子「吉井君。ここは薄汚いFクラスの教室じゃないわよ。ここは  
Aクラスの教室よ」

明久「いや、何その僕がこの場にいたらおかしいだろ的な視線は」

優子「当たり前よ！学園一のバカがここにいるのはおかしいじゃない！」

明久「そうは言っても振り分けの結果は結果だから。ほら」

ピラッ

明久は優子に振り分けの用紙を見せた。

たしかに『A』と書かれていた。

優子「う、嘘…吉井君が…本当にAクラス…？」

「何だと…？」

「本当にか…？」

明久「皆よつてたかつて疑うけど僕だって努力はするんだからね」

優子「で、でも…」

久保「木下さん。人の努力を馬鹿にしてはいけないよ」

優子「久保君！」

久保「昨年の彼がどんな扱いを受けたか君は知ってるかい？」

優子「確か皆からバカ呼ばわりされてたわよね」

久保「その通り。きつと彼はよっぽど悔しかっただろうね」

明久「うん。だから勉強に専念したんだよ。分かってもらえた？」

優子「うん。ごめんなさい吉井君。あなたのこと何にも知らないで

…」

明久「いいんだよ。分かってもらえたなら謝らなくなつて」

優子「（でも吉井君て皆からバカにされて悔しがって見返すために…Aクラスに入るために努力したのよね…それじゃあ吉井君てきつと痛い目を見た人がたくさん、その努力を積んで皆を見返した人の良い一例なのかも…）」

その時優子の心には妙な感情が出てくる。

優子「（あれ…？何だろうこの感じ…吉井君を見ると体が熱くなる…私もしかして…／／／／／／／）」

明久「ん？どうしたの木下さん。顔が赤いよ？」

優子「え！？ああ、なんでもないわ！それよりもそろそろHRが始まるんじゃないかしら！？」

久保「そうだね。先生も来るだろうし、席に着こうか」

明久「うん」

三人が席に着いた頃、ちょうど担任の高橋先生が来た。

高橋「皆さん進級おめでとうございます。私はこの二年A組の担任、高橋洋子です。よろしくお願いします」

高橋「まずは設備の確認をします。ノートパソコン、個人エアコン、冷蔵庫、リクライニングシートその他の設備に不備のある人はいいますか？」

高橋「参考書や教科書などの学習資料はもとより、冷蔵庫の中身に關しても全て学園が支給致します。他にも何か必要なものがあれば遠慮などすることなく何でも申し出てください」

どこからか紅茶の香りが漂ってくる。早速紅茶を淹れた生徒がいるのだろう。

どうでもいいが、作者は紅茶が嫌いだ。（原因は味）

高橋「では、始めにクラス代表を紹介します。霧島翔子さん。前に来てください」

翔子「……はい」

翔子「……霧島翔子です。よろしくお願いします」

高橋「Aクラスの皆さん。これから一年間、霧島さんを代表にして協力し合い、研鑽を重ねてください。これから始まる『戦争』で、どこにも負けないように」

高橋「では、窓側の人から順に自己紹介をしてください」

「  
です。よろしくお願いします」

高橋先生の指示で窓側から次々と自己紹介をしていく。

優子「木下優子です。よろしくお願いします」

愛子「一年の最後辺りに転入しました工藤愛子です。よろしくね」

明久「じゃあ僕が…吉井明久です。今年一年よろしくお願いします」

高橋「あら、吉井君がAクラスの教室にいるという事はどうやらかなりの努力を積んだんですね。皆さんも吉井君に負けない程たくさん努力を積んでください。では、自己紹介を終わります」

Aクラスの自己紹介は明久を最後に終了した。

**第1話：Aクラスの自己紹介！（後書き）**

フラグの立て方下手だな〜……俺。

感想お待ちしております。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1360ba/>

---

バカなアイツがAクラス！？

2012年1月8日21時46分発行